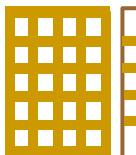


ぼちぼちいこか

学校だより 12月号

2025.11.27 発行



教育理念

生きる喜びを抱き
自ら学びを拓く

日本のエネルギー問題について自ら考える

～島根県修学旅行より～

校長 大谷 京司

11月13日(木)～15日(土)、2泊3日で今年度は島根県に6年生とともに修学旅行に行ってきました。テーマは主に「エネルギー」と「伝統文化」。特に5年生の時に子どもたちが興味をもったのが日本のエネルギー問題についてで、島根原子力館と再生可能エネルギーによる発



島根原子力館内



風力発電の中へ
バイオマス発電
木材チップ

原子力館から見た島根原子力発電所 電所を巡るツアーが今回の旅行のメインとなりました。

島根原子力発電所は1号機が運転を終了しており、廃止措置段階に、2号機が稼働中、3号機が建設中という過去・現在・未来を象徴しているような状況となっています。事前指導の中でも東日本大震災のことを改めて学び、自分たちの将来への不安も感じつつも、原子力館で説明を受けたり

実物大の模型を見たりしながら、安全性への最大限の対策も学ぶことができたようです。

再生エネルギーによる発電では、今回、太陽光、風力、バイオマス発電の各所を訪れ、普段は入れない内部まで立ち入らせていただきながら、そこに携わる方々から、課題や将来の展望なども直接伺うことができました。事前学習にプラスして、今回の修学旅行を通じて、自分事として考える力が養われたのではないかと思います。

今回、訪問施設がそれぞれ離れていたこともあり移動はワゴン車が中心でした。運転手さんの粋な計らいで、1日目に全国の八百万の神々が集まるという稻佐の浜から日本海に沈む夕日を眺めることができました。この砂を出雲大社の素鷦社にある砂と交換して、お守りなどとして持つ

と神様のご加護があると言います。4月から中学生になる6年生はこの砂を大事に持ち帰りましたので、きっと輝かしい未来が待ち受けていること思います。



稻佐の浜に沈む夕日

出雲大社



松江城



出雲古代歴史博物館で勾玉づくり

十八番朝会

毎回、子どもたちの得意なことや熱中していることを発表する機会として実施している十八番朝会。

今回も楽しい発表に、見ている者もワクワクドキドキして応援していました。

「得意を伸ばす」、これからも本校の特色として続けていきます。



リーダーのバトンタッチ

11月28日(金)の遠足に向けて、4・5年生が中心となり、「こどもの国」のグループごとの散策ルートを決めていきます。いろいろな体験ができる面白そうな所がたくさんあります。まずは行ってみたい所をみんなから聞き出すだけでも大変だったと思います。決められた時間の枠内で、みんなの要望をかなえていくことはなかなか新リーダーにとっては難しいことですが、きちんと低学年の意見にも耳を傾けてなるべく取り入れようと努力していました。広大な敷地の中で、宝を見つけながらグループを目的地までリードしていくことができるでしょうか？今回の遠足では、リーダーシップ

もさることながら、フォローワーシップの力もしっかりと養っていきたいと考えています。

インフルエンザの流行などで欠席者が多く、実施を先延ばしにして、ようやく臨時休校明けの翌日に行われた「リーダー引継ぎ会」。

本校では、日頃から縦割りグループ活動が多いため、上級生になるとどうしてもグループ内の意見を聞き、それをまとめて実行に移す力が求められます。この日常的な、リーダーとなる必然性が、特別なことをしているという気持ちを生ませず、今までのリーダーもいろいろ頑張っていたから自分も同じようにやってみようという緩やかなアクセラルとして4年生くらいから働き出します。この日のリーダー引継ぎ会では、「低学年が話をしてくれない、どこかに行ってしまう時どうすればよいのか。」という質問が多く出されました。それに対し、6年生は、「低学年が分かる言葉で短く明確に説明するとよい。」、「とにかくリーダーは明るく元気でいることが大切。」、「やる気が出る声がけをする。」など回答していました。

児童会選挙も来月4日に控えています。立会演説会では、4・5年生の立候補者5人が、これから七沢希望の丘初等学校をこうしていきたいという各自の強い意志を表明し、演説を聞く側も真剣に耳を傾けていました。

秋を感じて

今年は猛暑の後、いきなり寒くなってしまい、秋を感じる間がありませんでした。そんな中、秋のさわやかさと紅葉を楽しめるような瞬間が訪れたので、全校で、クリスマスリース飾り用の自然物探しも兼ねて七沢森林公园に出かけました。落ち葉がシャワーのように降り注ぐ中のハイキングはとても気持ちよく、少し遅めの秋となりましたが十分満喫することができました。

